

共生する建築

- 民藝に見るシステム思考の読解と実践 -

現今、不確定な環境の中で、建築は本来の寿命とは関係なく取り壊されており、設計者には社会との相互関係を含むシステムをデザインすることが求められる。
本研究では民藝に見るシステム思考を背景に BIM の手法を用いて、新たな持続可能な建築の在り方を提示する。

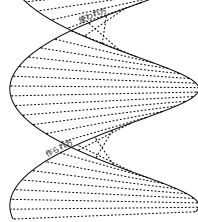
システム思考

様々な要素つながりを俯瞰し、システムそのものの改善を図る。



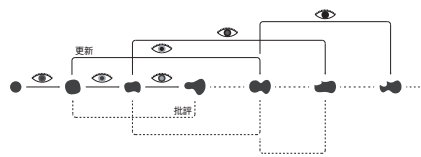
使われ方・作られ方のダブルバインド

主体と客体が重なり合った民藝のものづくりのシステム



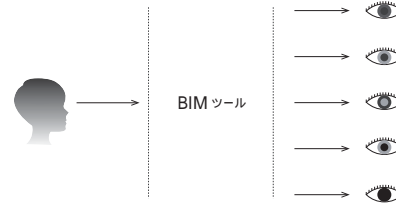
批評と更新の設計プロセス

社会の様々な視点に立ち、自らのデザインを批評し、更新するプロセスが必要である。

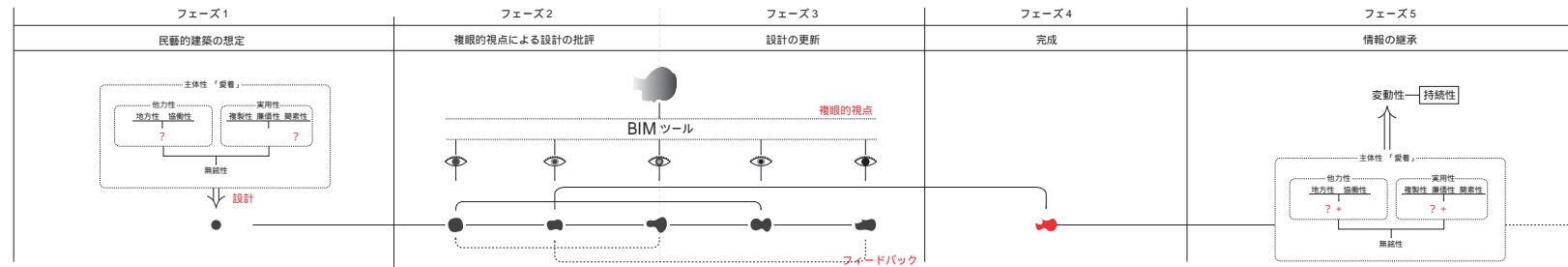


BIM ツールによる複眼的視点の把握

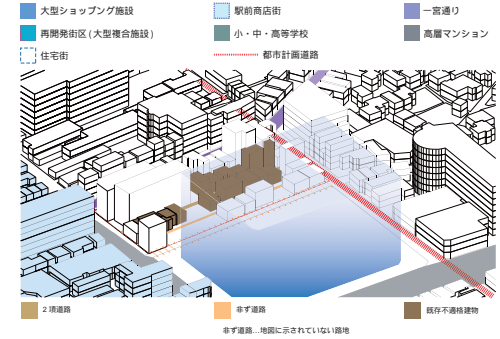
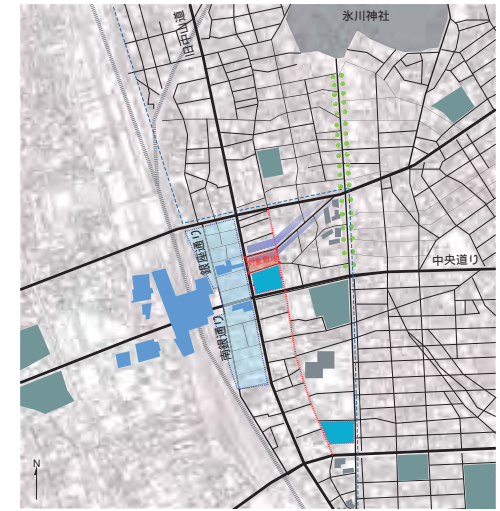
BIM ツールは、環境情報を見える化し、設計者が設計を批評し更新するきっかけとなる。



民藝的建築設計手法 - 能動的 批評と更新の設計プロセス -



対象敷地 - 埼玉県さいたま市大宮区大門町2丁目 -

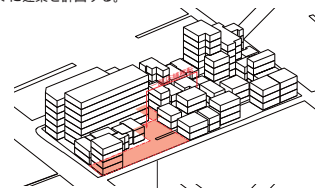


開発計画 - 3期に分けた建築設計 -

周辺環境の変化に応じて徐々に建築を計画する。

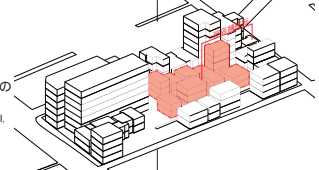
第1期

敷地内の空地・駐車場の建築の設計
shop, salon, office, exhibition room



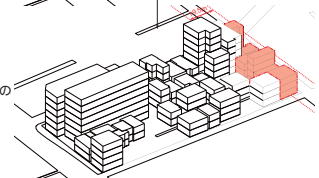
第2期

敷地内の既存不適格建物の建て替え
restaurant, house, community hall, foodshop

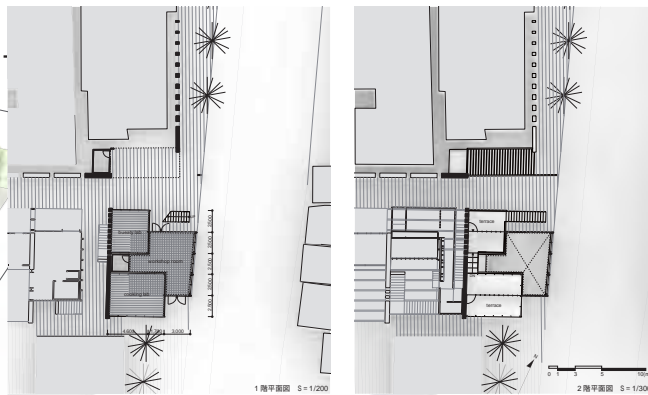


第3期

都市企画道路沿いの建物の建て替え
satellite college



第3期 - satellite college -



複眼的視点による設計の批評と更新

設計者の眼

奥への視線
 奥へ開ける視線
 奥への開けていく道
 奥への開けていく道

一宮通りから敷地に向かう人の眼

ウォークスルーから見る設計の批評

奥への開けていく道
 奥への開けていく道
 奥への開けていく道
 奥への開けていく道

奥への開けていく道
 奥への開けていく道
 奥への開けていく道
 奥への開けていく道

